



新診療科長挨拶 / 精神科 科長

富田 博秋（とみた ひろあき）

Department

2018年12月16日付けで精神科長を拝命した富田博秋です。1989年に岡山大学を卒業後、岡山、長崎、カリフォルニア等での活動を経て、2006年からは東北大学で精神医療、精神疾患の分子遺伝学的病態の解明研究等に従事して参りました。東日本大震災以降は、東北大学 災害科学国際研究所、同東北メディカル・メガバンク機構に軸足を置いて、被災地域の精神的健康の増進、精神医療保健の復興・防災体制向上並びに、個別化精神医療技術開発に向けた取り組みを行って来ており、これらの課題は現在も継続しています。

精神疾患は脳を中心とする身体機能と密接に結びつく形で精神機能、社会機能に直接問題が顕れます。その

ため精神科では、精神科医、看護師、臨床心理士／公認心理師、精神保健福祉士、作業療法士など多くの職種間の連携が特に重要となります。また、精神科領域で確立されて来ている有効な治療法を医療圈の中で必要とする患者さんに活用して頂くためには、地域の医療・保健機関の間で知識、情報、認識を共有して、精査や治療をタイムリーに提供できる連携体制作りが重要と考えています。一方、精神科の重要な役割に、一般の身体医療の中で起こる精神医学的諸問題に医療スタッフと共同してあたるリエゾン精神医学の実践があり、関連して精神腫瘍学、移植精神医学、周産期精神医学等の専門領域が発展してきています。児童精神医学、老年精神医学、緩和

医療やてんかん、睡眠障害、摂食障害等の診療でも他の診療科と近接しています。

当科はこのような多職種、地域、診療科間の連携を今後、更に深めさせて頂きながら諸課題に取り組んで参りたいと考えています。皆様方より、ご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

